

製品名: セプチン 8 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17746**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	SEPT8
別名	SEPT8; KIAA0202; Septin-8
遺伝子 ID	23176.0
SwissProt ID	Q92599
免疫原	抗血清はヒト SEPT8 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 170-219

背景

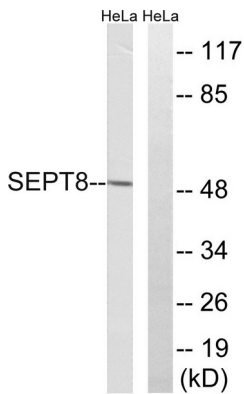
セプチン 8 (SEPT8) ホモサピエンス この遺伝子は、ヌクレオチド結合タンパク質のセプチンファミリーに属し、酵母において細胞分裂周期調節タンパク質として初めて記載されました。セプチンは酵母、ショウジョウバエ、マウスにおいて高度に保存されており、

細胞骨格の形成を制御していると考えられています。セプチン機能の破綻は細胞質分裂を阻害し、巨大な多核細胞または倍数体細胞をもたらします。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2014年7月]、類似性：セプチンファミリーに属します。サブユニット：SEPT5と相互作用します。組織特異性：脳、心臓、血小板で発現し、大動脈に最も多く存在します。アイソフォーム2は、後頭極、前頭葉、側頭葉、被殻などの特定の脳領域で低レベルで発現しているのに対し、アイソフォーム1と3はこれらの領域で高レベルで発現しています。前立腺、精巣、卵巣では、アイソフォーム2の発現が高く、アイソフォーム1と3の発現は低レベルです。

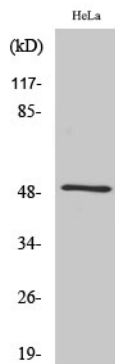
研究分野

細胞生物学; 細胞周期; 細胞分裂; 細胞質分裂

画像データ



SEPT8抗体を用いたHeLa細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



セプチン8ポリクローナル抗体を1:2000に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。